

母校の班活動紹介

☆柔道班
柔道班は三年生1人、二年生3人、一年生6人計10人で丸尾先生の指導の下、日々の稽古に励んでいます。
昨年度新人戦では団体戦Ⅱ部(3人制)へ出場、東信大会1位、県大会2位となり、本年度インターハイ予選では団体戦へ出場し東信大会3位となり、県大会へ出場しました。
今のチームは一・二年生主体のこれからのチームなので、試百難の精神の下で毎日

の稽古に打ち込み、より上の大会で活躍できるように成長していきたいです。
(山崎福太郎)



☆陸上競技班
陸上競技班は、毎日市営陸上競技場で活動しています。他の運動班に比べると人数は多くはありませんが、学年や男女を越えて班員の仲が良く、練習にも真剣に取り組み、練習だと思えます。それぞれの目標が北信越やインターハイ出場など高いところにあるため、顧問の細田先生が毎日考えてくださる練習メニューにはハードなものも多いです。体的、精神的に辛い時は隣りで一緒に練習する仲間が何よりも刺激になります。一人ひとりが妥協せず、どんな練習にも本気で向かうことで互いに高め合い、全員で勝ち上がっていきたくと思います。
(神津あずさ)

☆食品科学班
私たちは毎週火曜日調理室で活動しています。そして、月に一度のペースで調理実習を行っています。今年是一年生11人が入班し、総勢22人になりました。毎週とても楽しく活動しています。私達の一番輝ける活動の場は松尾祭です。毎年健康をテーマに無料喫茶店を開いて、班員による手作りの温かなおもてなしをしています。
松尾祭にお越しの際は、是非調理室にお立ち寄りください。班員一同心よりお待ちしております。
(堀内 由貴)

☆定時制空手道部
定時制で空手道の部活をしているところは、全国的にも本校のみと聞いています。そのため、高体連の競技会には全日制の大会に参加しています。生徒は全日制の空手道班同様、全日本空手道連盟に加盟し、昇級・昇段審査を受けて空手道修行に努力しています。数年前から授業時間を長くするため、クラブ活動の時間を短縮せざるを得なくなり、活動は全体で30分しか取れません。空手道は、その性質上15分のストレッチを必要とし、道着に着替えるために5分を必要とし、黙想と道場訓もしますので、練習時間は10分ほどになります。三修生以外は全日制の空手道班の練習にも参加しています。
(顧問 羽藤孝郎)

各班の主な成績・戦績 (平成20年夏以降)
県大会入賞と主な活動を掲載しました。

学芸班	成	績
棋道	将棋・20年県高校将棋大会 男子団体 優勝 / 県高校新人将棋選手権大会 団体戦 4位 / 21年第39回県高校将棋選手権大会 男子団体戦 優勝 / 団体 (中村・唐澤・山崎) → 全国大会 西宮・20年県高校将棋新人戦 個人優勝 → 北信越高校将棋選手権大会 → 全国大会 4位 (中曾根) / 21年全国高校将棋選手権大会 優勝 (中曾根) → 全国大会 全国高校総合文化祭出場	
英語	第16回県高校生英語ディベート大会出場 / 第3回全国高校生英語ディベート大会出場	
室内楽	20年全国高校選抜オーケストラフェスタ出場 / 県高校オーケストラフェスティバル参加 / 21年全国高校総合文化祭三重大会 9名参加 / 第12回定期演奏会	
現代音楽	県高校音楽系クラブ合同演奏大会 優秀賞 WELDOWN (関・倉沢・吉澤・菊池・土屋) 個人賞 (菊池) 県高校総合文化祭軽音楽部 最優秀賞 Back Door (堀内・金子・小山・宮崎・土屋・滝澤)	
混声合唱	県高校合唱フェスティバル出場	
書道	県書道展 仮名の部 特選 (堀内・関・中野) 金賞 (竹内・黒澤・福井・滝澤) 漢字の部 特選 (滝澤・中野) 金賞 (太田・泉・関・唐澤・奥谷川・青木・堀内・矢澤) 賞状 14名 入選 6名 全国書道展 県知事賞 (中野) 特別賞 (滝澤・堀内・橋詰・丸山) 全国書道展 (堀内)	
新聞	全国総合文化祭出場 (文化連賞賞)	
吹奏楽	20年県吹奏楽コンクール高校部門A編成 金賞・藤森音楽賞受賞・県1位 → 東海大会 金賞受賞 / 中部日本吹奏楽コンクール 金賞 / アンソナルコンテスト・クラリネット八重奏 金賞 (興代表) → 東海大会 フルーツ四重奏・サキソフォン四重奏 銀賞 / 個人・重奏コンテスト県大会 打楽器五重奏 金賞 (興代表) → 個人・重奏コンテスト本大会 優良賞 金賞十重奏 銀賞	
美術	県高校美術展 4名出品 (石合・鶴岡・西澤・木曾)	
文芸	県高校文芸コンクール 詩部門 優秀賞 (北澤) 文芸誌部門 優秀賞 (松尾文喜 67号) / 20年 NKK杯全国放送コンテスト全国大会 テレビドラマ部門「見えない私」制作奨励賞 (5位入賞) / 21年 北信越放送選抜大会 ビデオメッセージ「地名は伝える」優良賞 (2位入賞) アナウンス部門 優良賞 塩原 (2位入賞) / NKK杯全国放送コンテスト県大会 研究発表部門「放送班のメディアミックス」NKK賞 テレビドキュメント部門「昇龍口から羽ばたけ」制作テレビドラマ部門「Well」3作品とも優秀賞 → 全国大会 朗読部門 優秀賞 (山崎) 優良賞 (西村・丸山) アナウンス部門優秀賞 (塩原) → 全国大会 優良賞 (石合・松澤・井出)	
化学	ふしぎなるほどおもしろサイエンス in 上田創造館 実験ブース出演	
ダンス	県総合文化祭ダンスフェスティバル出場 / 全国高校ダンスドリル選手権甲信越大会 HipHop Small 編成出場	
郷土	県高校文化連盟人文・社会科学コンクール 最優秀賞 / 旺文社全国学芸科学コンクール 赤尾好夫記念賞	

運動班	成	績
定時制	21年 県定通大会 卓球 男子団体戦優勝 → 全国大会 個人 男子 3位 (中林) → 全国大会 ソフトテニス 女子個人戦 3位 (今井・上原) → 全国大会 サッカー 準優勝	
弓道	20年 選抜大会県予選会 男子団体優勝 → 全国大会 (山崎・福澤・宮坂・清水) / 21年 長鉄近県大会男子団体優勝 上田市近県大会 男子団体2位 女子団体2位 県大会 男子団体3位 → 北信越大会	
剣道	20年県新人戦 男子個人 5位 (下形) 女子 個人優勝 (清水) 男子団体準優勝 → 北信越大会 女子団体ベスト8 / 21年県大会 男子個人 5位 (下形) 男子団体準優勝 → 北信越大会 女子団体ベスト8	
硬式野球	第90回全国高等学校選手権大会県大会 3回戦 第119回北信越地区高校野球県大会県大会 準優勝 → 県大会 1回戦 第120回北信越地区高校野球県大会県大会 準優勝 → 県大会 2回戦	
サッカー	20年選手権大会 県大会ベスト8 21年 U18 長野県リーグ (1部) 5節終了時点で1位 (全7節) 21年高校総体県大会ベスト16	
山岳	21年 県大会 7位	
水泳	20年 県新人大会 女子 50m 平泳ぎ 3位 (増田) 100m 平泳ぎ 6位 (増田) 女子 400m リレー 7位 (増田・宮坂・櫻井・滝沢) / 21年 女子 400m メドレーリレー (宮坂・増田・清水・山崎) 7位 → 北信越大会	
男子ソフトテニス	20年 県新人大会 個人ベスト8 (金子・川崎組) 団体ベスト16 県選抜大会 団体ベスト16 / 21年 県大会 個人ベスト16 (金子・川崎組) → 北信越大会出場 団体ベスト8	
ハンドボール	20年 県新人大会 男子ベスト8 女子県新人大会優勝 県選抜予選優勝 → 北信越選抜予選 3位 県総合選手権大会優勝 / 21年 県大会 男子 4位 女子県大会準優勝 → 北信越大会	
バドミントン	20年 県新人大会 団体戦女子ベスト8 / 21年 県大会 個人ダブルスベスト8 (中村・柳澤組)	
男子バレーボール	20年 県新人大会 ベスト8 / 21年 春の高校バレー県予選ベスト8 中部日本総合選手権出場 県総合体育大会出場	
空手	20年 県新人大会 女子団体組手 準優勝 → 北信越大会 / 21年 県大会 女子団体組手 準優勝 → 北信越大会	
陸上競技	20年 県新人大会 男子 走幅跳 6位 (出澤) 4 × 400m リレー 6位 (菊池・出澤・大田・堀川) ハンマー 投 7位 (若下) 女子 1500m 7位 (大井) → 北信越新人大会 1500m 5位 (大井) / 21年 県大会 男子 4 × 400m リレー 優勝 (大田・出澤・菊池・堀川) 400m 5位 (堀川) ハンマー 投 6位 (若下) → 以上 北信越大会 女子 走幅跳 6位 (若下) → 北信越大会 1500m 7位 (大井)	
ゴルフ	20年 秋季 県信越高校ゴルフ選手権大会出場 21年 春季 県信越高校ゴルフ選手権大会出場 第13回県高等学校ゴルフ選手権大会団体部 準優勝	
スキー・同好会	21年 国体予選 大回転 3位 (北沢) → 国体出場	
アチエリ同好会	20年 県大会女子個人優勝 (林) → インターハイ出場 県新人大会優勝 (林) 団体個人 7位・団体戦 6位 (林) / 21年 県大会女子個人優勝 (林) → インターハイ出場 世界ユース選手権大会出場 (林)	
上記のほかに	男子テニス 女子ソフトテニス 軟式野球 男子バスケットボール 女子バスケットボール 男子卓球 女子卓球 柔道 弓道 (女子) 新体操 (個人)	

同期会だより

〔47期〕
47期は、上田中学校(じょうちゅう)最後の期(昭和23年卒業)であり、上田松尾高校最初の期(昭和24年)として、大戦後の学制改革の中心に位置しました。大戦時は同年輩の特攻隊出撃をみつめ、戦後は、学國民民主化活動、現在につながる部・クラブ活動を進めました。

われわれの年代は難しい人間が多いと言われます。大変革の中で熟慮が習慣化した結果でしょうか。同期のつながりは固く、各地で「集まり」が持たれ、上田でも月一回の例会に20余人が名を連ね語り合っています。声をかければ各地から参加があり、合同の集まりも開きます。
(田中 佐敏)

〔57期〕
われわれ57期は、校歌松尾が丘に接近い頃、上田松尾高校の門にいで入って東立ちの時上田高校と改名の年度。正にその第一期生として今年卒業50周年の佳節を迎えました。同期の桜は470余人、全日制女子は4人と隔世の感を覚えます。今年初めよりクラス幹事、代議員がいく度か会を重ね盛大な同期会と記念事業を計画しました。57期の皆様、来たる同期会百周年記念事業共々ご理解とご参加をお待ち申し上げます。

OB会つうしん

◆男子バレー班 創部60周年記念事業が、平成17年8月14日の祝賀式典を頂点に成功裏に完結しました。主要実行委員は、委員長 香山守雄(53期)、記念誌 横山二男(47期)、故人、募金 菊地湊(48期)、小山盛夫(54期)、事業 土屋正治(55期)、会計 西沢公義(55期)、総務 羽田義久(65期)、関東 中村邦彦(58期)、事務局 長峰



◆野球班 野球班OB会は、毎年1月の最終日曜日に総会を行っています。参加者はOBだけでなく、部長や監督の先生方もおられます。今年には井出賢次先生(46期)を最古参に、90期代の若いOBまで40人程が参集しました。野球班でも若手のOBの参加者が少ないのが悩みの種です。会話は三度目の甲子園出場を願うことばかり...。こんな願いを実現しようと4月からOBの部長、監督を迎える事になりました。加藤

〔77期〕
私たち77期は今年、ちょうど卒業後30年を迎え、母校への記念品の贈呈が予定されています。このためのクラス幹事を7月3日に行い、準備を進めております。同期の皆様には母校創立百周年の募金とともに、記念品の購入のための募金へのご理解とご協力をお願い申し上げます。各クラスの幹事は次の通りです。(1組) 田村俊一(2組) 関勇治(3組) 田中達夫(4組) 土屋正明(5組) 石沢城(6組) 中村栄孝(7組) 両角功(8組) 工藤秀樹
(関 勇治)

**◆陸上競技班 上田高等学校陸上競技班OB会は、現在会員数450人ほどで、現役員への助成として遠征費の補助や卒業記念品の贈呈などを行っています。また、陸上競技班らしいものとしては、各種目の上田高校新記録達成者にも記念品を贈っています。その他に数年に一度ずつ、備品の購入補助を行っています。OBの活動としては、年一回総会を開催(今年は8月8日)し、併せてゴルフコンペなども行い、親睦を深めています。また、ホームページ上で現役員らの活動やOBからのコメントなども公開しています。
(72期 宮坂 典明)**

**◆硬式庭球班 硬式庭球班OB会は、小林洋一氏(70期)を会長に現在会員数約300人の組織となつています。活動は、現役を交えてのOB会の開催と現役員への指導・支援が主ですが、夏のOB会は40回を数えるまでになりました。この会は初代顧問の安江昭祐先生の呼びかけで始められました。当初は「テニスをした後にヤキトリで一杯」といった気軽な集まりであったそうですが、ここから長く続くことになり、今では当時安江先生も予想されなかったとか。また最近では、OBの子弟が入部し親子でOBとなるケースがいくつも出始めており、歴史を感じられるようになりました。テニスは一生継続されるスポーツですが、それゆえ、このOB会をきっかけに班員同士、またOB同士で一生のお付き合いが出来るという魅力もあります。これからもOB会活動を末永く続けていきたいものです。
(75期 櫻井 雅文)**

84期のみなさん
同窓会報の広告費への協力ありがとうございました。今年当番期です。9月の会員大会へぜひ参加して下さい。

第二回同期会も開催します。
8月15日(土) 午後4時より 「ささや」にて
希望者はクラス幹事か4組武井まで連絡をお願いします。

代表幹事 武井英之 0268 (22) 1940	
1組 竜野 博	2組 滝沢 恒明
3組 荒井 優貴	4組 武井 英之
5組 櫻井 雅史	6組 木内 健一
7組 米津 仁志	8組 若山 拓
9組 桜井(宮島)佳子	
10組 斎藤 卓也	

飯島耳鼻咽喉科 医院

飯島 正道 (79期)

上田市大手1丁目1番78号
TEL.0268(22)1270

医療法人秀栄会 岸医院
岸 秀幸 (79期)

内科・消化器科・呼吸器科
上部/下部内視鏡
人間ドック・各種健診
通所リハビリテーション(デイケア)
訪問看護ステーション しらゆり

上田市上丸子328-1
http://www.kishi-clinic.or.jp
TEL 0268-42-2679

New Wave FROM MITSUBA
常に新たな時代のうねりを生み出す原動力でありたい。

三葉のたしかな技術力と創造力で作る製品

各種押出成形機
電線製造装置
電気溶接機

株式会社 三葉製作所
代表取締役社長 堀内健一 (79期)

本社 東京都品川区小山5丁目1番1号 TEL 03(3711)5101(大代表)
〒142-0062 FAX 03(3711)5109
上田工場 長野県上田市中央東5番14号 TEL 0268(24)3131(代表)
〒386-8638 FAX 0268(24)3136